

成蹊大学教職課程規則

制 定 昭和41年9月26日
学 園 理 事 会
最新改正 2022年2月9日
常 務 理 事 会

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この規則は、教育職員免許法(昭和24年法律第147号)、同法施行規則(昭和24年文部省令第27号)、成蹊大学学則(以下「学則」という。)第5条第2項及び成蹊大学大学院学則(以下「大学院学則」という。)第7条の2第2項の規定に基づき、教職課程の目的、運営、履修等に関し必要な事項を定める。

(教職課程の目的)

第2条 成蹊大学(以下「本学」という。)の教職課程は、学則、大学院学則、各学部規則及び各研究科規則に定める人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的及び開放制教員養成制度の趣旨に則り、教育界に貢献できる教師を送り出すことを設置の目的とする。

2 本学、本学の各学部及び各学科並びに本学の大学院の各研究科及び各専攻における教員養成に対する理念及び構想並びに教職課程の設置趣旨は、別に定める。

3 本学の教員養成に係る教育課程編成・実施の方針及び教育職員免許状(以下「免許状」という。)授与の所要資格を得るための方針は、別に定める。

4 本学の教職課程は、第1項の目的を達成するために、学部学科の課程及び研究科専攻の課程が円滑に実施できるよう、大学内の組織間の有機的な連携を図り、適切な体制を整えるものとする。

(自己点検及び評価)

第2条の2 本学の教職課程は、教職課程の教育課程、教員組織、教育実習並びに施設及び設備の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するとともに、教職課程の改善及び充実に努めるものとする。

2 前項の点検及び評価を行うに当たっての項目の設定、実施体制等については、別に定める。

(運営)

第3条 本学の教職課程を円滑に運営し、かつ、教職課程を履修する学生の支援に資するため、本学に教職課程センター(以下「センター」という。)を置く。

2 センターに関し必要な事項は、別に定める。

(教職課程科目の開設・運営等)

第4条 学則第35条第3項別表第1の2に基づき開設する教職課程科目の授業の運営は、文学部が行う。ただし、「各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)」のうち、理科教育法、数学科教育法、工業科教育法及び情報科教育法の授業の運営は、理工学部が行う。

2 教科及び教職に関する科目のうち、「教科に関する専門的事項」及び「大学が独自に設定する科目」(大学院研究科専攻等の課程に限る。)は、原則として学部学科又は研究科専攻に開設する。

(教育実習の担当者)

第5条 教育実習については、原則として教職課程専任教員が担当する。ただし、教育実習校における訪問指導については、当該学生が所属する学部学科の教員に協力を求めることができる。

(教職課程専任教員の取扱い)

第6条 教職課程専任教員は、学長直属教員として、各学部の定員枠外で若干名置くものとし、その専門分野、担当教科等に応じ、いずれかの学部学科に兼務所属するものとする。

2 教職課程専任教員の採用及び昇任に関する取扱いは、成蹊大学学長直属教員採用及び昇任に関する手続内規に定めるところによる。

(非常勤講師の選考)

第7条 教職課程の科目を担当する非常勤講師の選考については、候補者をセンターで調整した上で、

成蹊大学非常勤講師の選考に関する規則の規定に基づき選考を行うものとする。

第2章 所要資格

(免許状の種類及び免許教科)

第8条 本学及び本学の大学院で取得できる免許状の種類及び教科は、別表第1に定めるとおりとする。
(免許状の授与を受ける場合の所要資格)

第9条 中学校教諭及び高等学校教諭の免許状の授与を受ける場合の所要資格は、別表第2に定めるとおりとする。

(一種免許状を取得する場合の教科及び教職に関する科目の単位の修得方法)

第10条 教科及び教職に関する科目のうち、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」及び「教育実践に関する科目」の単位は、別表第3の定めるところにより修得するものとする。

2 教科及び教職に関する科目のうち、「教科及び教科の指導法に関する科目」の単位は、それぞれの学科において取得しようとする教科に応じ、別表第4に掲げる科目の単位を次のとおり修得するものとする。

- (1) 各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。) 別表第2に定める単位数
- (2) 教科に関する専門的事項 各科目に含めることが必要な事項を1単位以上含め、前号の単位とあわせて中学校教諭の免許状取得の場合は28単位以上、高等学校教諭の免許状取得の場合は24単位以上

(一種免許状を取得する場合の大学が独自に設定する科目の単位の修得方法)

第11条 中学校教諭及び高等学校教諭の一種免許状を取得する場合の大学が独自に設定する科目の単位は、次の各号に掲げるものの履修により修得した単位数の合計とする。

- (1) 最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」又は「教育実践に関する科目」
- (2) 前号のほか、次の表に掲げる授業科目の履修

(注) ○印の数字は、当該科目の単位数を表す。

免許法施行規則に規定する科目区分等	単位数	授業科目名・単位数	備考
大学が独自に設定する科目	中学4 高校12	学校経営と学校図書館② 学校図書館メディアの構成② 学習指導と学校図書館② 読書と豊かな人間性② 情報メディアの活用② 教職特論演習Ⅰ② 教職特論演習Ⅱ②	各学部学科 校種 教科共通
		道徳教育の指導法②	高等学校免許状取得の場合に適用。各学部学科の高等学校の各教科共通
		英語圏文化426(英語教育)	文学部英語英米文学科のみ対象 文学部開設
		理工教材開発法②	理工学部理工学科のみ対象 理工学部開設

(教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目の単位の修得方法)

第12条 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める「日本国憲法」、「体育」、「外国語コミュニケーション」及び「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」の科目の単位の修得方法は、次の表に定めるとおりとする。

(注) ○印の数字は、当該科目の単位数を表す。

免許法施行規則第66条の6に定める科目	単位数	授業科目名・単位数	備考
日本国憲法	2	日本国憲法②	経済学部、理工学部、文学部、経営学部必修
		憲法Ⅰ④	法学部法律学科必修
		憲法④	法学部政治学科必修
体育	2	健康・スポーツ演習A② 健康・スポーツ演習B②	1科目以上修得すること。
外国語コミュニケーション	2	College English (Listening & Speaking) I① College English (Listening & Speaking) II①	必修
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報基礎②	必修

(専修免許状を取得する場合の科目の単位の修得方法)

第13条 中学校教諭及び高等学校教諭の専修免許状を取得しようとする場合の単位は、取得しようとする教科の一種免許状の所要資格を満たした上、所属する研究科・専攻ごとに別表第5に定める大学が独自に設定する科目の単位を修得するものとする。

第3章 履修

(教職課程の登録)

第14条 教職課程を履修しようとする者は、原則として第2年次の始めに所定の教職課程履修費を添えて、教職課程登録を行わなければならない。

第15条 削除

(教育実習の履修)

第16条 教育実習(中・高)又は教育実習(高)を履修するためには、3年次の終了までに、次に掲げる要件をすべて満たさなければならない。

- (1) 卒業に必要な修得単位数を90単位以上修得すること。
 - (2) 「教育の基礎的理解に関する科目」及び「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」に定める必修科目のうち、「道徳の理論及び指導法」の科目を除くすべての科目の単位を修得すること。
 - (3) 教育実習論の単位を修得すること。
 - (4) 第9条に定める「日本国憲法」、「体育」、「外国語コミュニケーション」及び「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」の科目のすべての単位を修得すること。
 - (5) 取得しようとする免許状の教科(複数の教科の免許状を取得しようとする者は、最低1教科)の「各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)」の科目を4単位以上修得すること。
 - (6) 教育実習校が決定していること。
- 2 前項の要件をすべて満たさない場合であっても、教職課程センター所長が認めた場合には、当該教育実習を履修させることがある。
- 3 教育実習を行う者は、教育実習を行う年度の始めに所定の教職課程実習費を納入しなければならない。
- 4 教育実習は、教育実習論及び教育実習(中・高)又は教育実習(高)において実施される教育実習に係る事前事後指導を受講し、かつ、原則として中学校又は高等学校で行う教育実習を、取得しようとする免許状に応じ、次の時間以上行うものとする。
- | | |
|---------------------------|---------|
| (1) 中学校教諭免許状を取得しようとする者 | 120時間以上 |
| (2) 高等学校教諭免許状のみを取得しようとする者 | 60時間以上 |
- 5 その他教育実習に関し必要な事項は、別に定める。
(教職実践演習の履修)

第17条 教職実践演習(中・高)を履修できる者は、次のいずれかに該当する者とする。

- (1) 教育実習(中・高)又は教育実習(高)のいずれか1科目の単位の既修得者
 - (2) 教育実習(中・高)又は教育実習(高)のいずれか1科目を教職実践演習(中・高)と同一年度に履修できる者
- 2 教職実践演習(中・高)を履修する者は、この科目の履修を開始する前までに、所定の履修記録を作成しなければならない。
(介護等の体験)

第18条 中学校教諭の免許状の授与を受けようとする者は、別表第2に定める所要資格に係る履修のほか、小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律(平成9年法律第90号)に定める介護等の体験を行わなければならない。

- 2 介護等の体験を行おうとする者は、第15条に定める教職課程登録を行い、かつ、次の要件を満たさなければならない。
- (1) 特別支援教育概論の単位を修得している又は体験を開始する年度に履修すること。
 - (2) 授業外で行う介護等の体験の事前指導を受講し、かつ、所定の手続きを行うこと。
- 3 介護等の体験に関し必要な事項は、別に定める。
(学校図書館司書教諭)

第19条 教職課程を履修する者は、学校図書館法(昭和28年法律第185号)及び学校図書館司書教諭講習規程(昭和29年文部省令第21号)に基づく学校図書館司書教諭課程を履修することができる。

- 2 学校図書館司書教諭課程に関し必要な事項は、別に定める。
(科目等履修生等の取扱い)

第20条 成蹊大学科目等履修生規則に定める教職課程科目履修生として教職課程を履修しようとする者の履修期間は、概ね2年を標準とする。

- 2 教職課程科目履修生が教育実習を履修するためには、原則として、1年目の終了までに第16条第1項第2号から第6号までの要件を満たさなければならない。この場合において、当該要件が満たされない場合の取扱いについては、第16条第2項の規定を準用する。
- 3 前2項の規定は、成蹊大学卒業延期制度に関する規則の適用を受けて卒業を延期した者(以下「卒業延期者」という。)又は本学大学院に入学した者で、卒業延期が認められた年度又は本学大学院への入学年度から新たに本学教職課程において大学学部学科等の課程を履修する場合に準用する。

第4章 雑則

(証明書の発行)

第21条 教育職員免許状取得見込証明書は、原則として、卒業見込証明書又は修了見込証明書の発行が認められる者で、かつ、取得しようとする免許状の所要資格を卒業見込年月日又は修了見込年月日までに得る見込みがある者に発行するものとする。

- 2 本学で教職課程を履修した者、又は本学を卒業後に他大学等の教員養成機関において教職課程を履修しようとする者に対しては、本人の申請に基づき、学力に関する証明書を発行するものとする。
- 3 証明書発行手数料については、別に定める。
(細則)

第22条 この規則に定めるもののほか、教職課程の運営、履修等に関し必要な事項は、別に定める。
(事務の所管)

第23条 教職課程に係る事務は、教務部が行う。
(規則の改廃)

第24条 この規則の改廃は、常務理事会の議を経て、理事長が行う。
附 則 (略)

別表第1 免許状の種類及び免許教科 (第8条関係)

課程	学部・学科、研究科・専攻		免許状の種類	免許教科	
大学学部学科等の課程	経済学部	経済数理学科	中学校教諭一種免許状	社会	
			高等学校教諭一種免許状	公民	
		現代経済学科	中学校教諭一種免許状	社会	
			高等学校教諭一種免許状	地理歴史	
	高等学校教諭一種免許状		公民		
	高等学校教諭一種免許状		公民		
	理工学部	理工学科	中学校教諭一種免許状	数学	
			中学校教諭一種免許状	理科	
			高等学校教諭一種免許状	数学	
			高等学校教諭一種免許状	理科	
			高等学校教諭一種免許状	工業	
			高等学校教諭一種免許状	情報	
	文学部	英語英米文学科	中学校教諭一種免許状	英語	
			高等学校教諭一種免許状	英語	
		日本文学科	中学校教諭一種免許状	国語	
			高等学校教諭一種免許状	国語	
			国際文化学科、現代社会学科	中学校教諭一種免許状	社会
				高等学校教諭一種免許状	地理歴史
	高等学校教諭一種免許状	公民			
	高等学校教諭一種免許状	公民			
法学部	法律学科、政治学科	中学校教諭一種免許状	社会		
		高等学校教諭一種免許状	地理歴史		
		高等学校教諭一種免許状	公民		
経営学部	総合経営学科	中学校教諭一種免許状	社会		
		高等学校教諭一種免許状	公民		
大学院研究科専攻等の課程	理工学研究科	理工学専攻	中学校教諭専修免許状	数学	
			高等学校教諭専修免許状	数学	
			中学校教諭専修免許状	理科	
			高等学校教諭専修免許状	理科	
	経済経営研究科	経済学専攻、経営学専攻	中学校教諭専修免許状	社会	
			高等学校教諭専修免許状	公民	
	法学政治学研究科	法律学専攻、政治学専攻	中学校教諭専修免許状	社会	
			高等学校教諭専修免許状	公民	
	文学研究科	英米文学専攻	中学校教諭専修免許状	英語	
			高等学校教諭専修免許状	英語	
		日本文学専攻	中学校教諭専修免許状	国語	
			高等学校教諭専修免許状	国語	
		社会文化論専攻	中学校教諭専修免許状	社会	
			高等学校教諭専修免許状	地理歴史	
高等学校教諭専修免許状	公民				

別表第2 免許状授与のための所要資格 (第9条関係)

(1) 大学学部学科等の課程 (一種免許状)

基礎資格		学士の学位を有すること。					
大学において修得することを必要とする最低単位数		中学校教諭		高等学校教諭			
教科及び教職に関する科目	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項 各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)		8	28	4	24
	教育の基礎的理解に関する科目		10		10		
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目		10		8		
	教育実践に関する科目	教育実習	5	7	3	5	
		教職実践演習	2		2		
	大学が独自に設定する科目		4		12		
計		59		59			
教育職員免許法施行規則第66条の6に規定する科目	日本国憲法		2		2		
	体 育		2		2		
	外国語コミュニケーション		2		2		
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作		2		2		
小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律 (平成9年法律第90号) に定める介護等の体験		要		不要			

(2) 大学院研究科専攻等の課程 (専修免許状)

基礎資格		修士の学位を有すること又は大学院に1年以上在学し、30単位以上修得すること。				
大学において修得することを必要とする最低単位数		中学校教諭		高等学校教諭		
教科及び教職に関する科目	教科及び教科の指導法に関する科目	大学学部学科等の課程で履修すること。		大学学部学科等の課程で履修すること。		
	教育の基礎的理解に関する科目					
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目					
	教育実践に関する科目					
	大学が独自に設定する科目 (大学学部学科等の課程で定めるもの)					
大学が独自に設定する科目 (大学院研究科専攻等の課程で定めるものに限る。)		24		24		
教育職員免許法施行規則第66条の6に規定する科目	日本国憲法		大学学部学科等の課程で履修すること。		大学学部学科等の課程で履修すること。	
	体 育					
	外国語コミュニケーション					
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作					
小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律 (平成9年法律第90号) に定める介護等の体験		要		不要		

別表第3 教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目及び教育実践に関する科目 (第10条第1項関係)

(注) ○印の数字は、当該科目の単位数を表す。

施行規則に定める科目区分等		単位数	必修 選択 の別	授業科目名・単位数	備考
科目	各科目に含めることが必要な事項				
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	中学10 高校10	必修	教育原理②	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		必修	教職論②	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		必修	学校と社会②	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		必修	教育心理学②	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		必修	特別支援教育概論②	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		必修	教育課程論②	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	中学10 高校8	必修	道徳教育の指導法②	中学のみ適用
	総合的な学習の時間の指導法		必修	総合的な学習の時間の指導法②	
	特別活動の指導法		必修	特別活動の指導法②	
	教育の方法及び技術		必修	教育の方法と技術②	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		必修	ICT活用の理論と方法①	
	生徒指導の理論及び方法		必修	生徒指導論②	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		必修	進路指導論②	
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	必修	教育相談②			
教育実践に関する科目	教育実習	中学5 高校3	必修 選択 必修	教育実習論① 教育実習(中・高)⑤ 教育実習(高)③	
	教職実践演習	2	必修	教職実践演習(中・高)②	
備考					
教育実習(中・高)は、中学校教諭免許状のみ取得又は中学校教諭免許状及び高等学校教諭免許状の両方取得の場合の必修とし、教育実習(高)は、高等学校教諭免許状のみ取得の場合の必修とする。					

別表第4 教科及び教科の指導法に関する科目 (第10条第2項関係)

(1) 経済学部経済数理学科 (中学校教諭一種免許状 (教科: 社会)、高等学校教諭一種免許状 (教科: 公民))

(注) ○印の数字は、当該科目の単位数を表す。

科目区分	校種 教科	各科目に含める ことが必要な事項	校種 教科	各科目に含める ことが必要な事項	必修 選択 の別	授業科目名・単位数	備考		
教科及び教科の指導法に関する科目	中学校・社会	日本史・外国史	中学校・社会	日本史・外国史	必修	日本史概論Ⅰ② 日本史概論Ⅱ②			
						世界史概論Ⅰ② 世界史概論Ⅱ②			
					選択	数量経済史② 経済史の基礎②			
						近現代日本史A② 近現代日本史B②			
						近現代の欧米A② 近現代の欧米B②			
						近現代のアジアA② 近現代のアジアB②			
		必修	人文地理学② 自然地理学②						
			地誌学②						
		選択	社会経済地理学② 経済発展論②	全学共通科目					
			現代社会の地理② 日本の国土と社会②						
		必修	「法学、政治学」	「法学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む。)」	高等学校・公民	「法学、政治学」	必修	現代の政治学②	全学共通科目
								選択	
必修	「社会学、経済学」	「社会学、経済学(国際経済を含む。)」	高等学校・公民	「社会学、経済学」	必修	ミクロ経済学Ⅰ② マクロ経済学Ⅰ②			
						ミクロ経済学Ⅱ② マクロ経済学Ⅱ②			
						ミクロ経済学Ⅲ② マクロ経済学Ⅲ②			
						環境経済学A② 公共経済学②			
						教育経済学② 労働経済学②			
						国際経済学A② 国際経済学B②			
国際マクロ経済学② 産業組織論A②									
産業組織論B② 金融論A②									
金融論B② 財政学A②									
財政学B② 社会学②									
選択 必修	「哲学、倫理学、宗教学」	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	高等学校・公民	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	選択 必修	哲学の基礎② 倫理学の基礎②	全学共通科目。1科目以上修得すること。		
						社会思想史②			
選択	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	高等学校・公民	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	選択	現代社会と哲学② 現代社会と倫理学②	全学共通科目		
						心理学の基礎② 自己理解の心理学②			
科目区分	各科目に含める ことが必要な事項	校種・教科	必修 選択 の別	授業科目名・単位数	備考				
教科及び教科の指導法に関する科目	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目	中学校・社会	選択	戦後の日本と世界②	全学共通科目				
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	中学校・社会	必修	社会科教育法A② 社会科教育法B② 社会科・地理歴史科教育法② 社会科・公民科教育法②					
		高等学校・公民	必修	社会科・公民科教育法② 公民科教育法②					

(2) 経済学部現代経済学科 (中学校教諭一種免許状 (教科: 社会)、高等学校教諭一種免許状 (教科: 地理歴史及び公民))

(注) ○印の数字は、当該科目の単位数を表す。

科目区分	校種 教科	各科目に含めることが必要な事項	校種 教科	各科目に含めることが必要な事項	必修 選択 の別	授業科目名・単位数	備考
教科及び教科の指導法に関する科目	中学校・社会	日本史・外国史	高等学校・地理歴史	日本史	必修	日本史概論Ⅰ② 日本史概論Ⅱ②	全学共通科目
					選択	日本経済史A② 日本経済史B② 数量経済史②	
						近現代日本史A② 近現代日本史B②	
				外国史	必修	世界史概論Ⅰ② 世界史概論Ⅱ②	全学共通科目
					選択	経済史の基礎② 西洋経済史A② 西洋経済史B② 比較経済史② 地域経済史②	
						近現代の欧米A② 近現代の欧米B② 近現代のアジアA② 近現代のアジアB②	
		地理学 (地誌を含む。)	人文地理学・自然地理学	必修	人文地理学② 自然地理学②	全学共通科目	
				選択	経済発展論② 社会経済地理学② 経済地理学A② 経済地理学B② 資源経済学②		
		地誌		必修	地誌学②	全学共通科目	
				選択	エリア・スタディーズA② エリア・スタディーズB②		
		「法学、政治学」	「法学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む。)」	必修	現代の政治学②	全学共通科目	
				選択	環境と法② ベーシック民法② 日本国憲法②		
		「社会学、経済学」	「社会学、経済学(国際経済を含む。)」	必修	初級ミクロ経済学Ⅰ② 初級マクロ経済学Ⅰ② 初級ミクロ経済学Ⅱ② 初級マクロ経済学Ⅱ② 中級ミクロ経済学② 中級マクロ経済学②	全学共通科目。1科目以上修得すること。	
				選択	国際マクロ経済学② 社会学② 現代日本経済② 産業組織論A② 産業組織論B② 国際経済学A② 国際経済学B② 金融論A② 金融論B② 環境経済学A② 環境経済学B② 公共経済学② 教育経済学② 労働経済学② 社会保障論A② 社会保障論B② 財政学A② 財政学B②		
		「哲学、倫理学、宗教学」	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	選択 必修	哲学の基礎② 倫理学の基礎②	全学共通科目。公民のみ適用。全学共通科目。	
選択	社会思想史②						
選択	現代社会と哲学② 現代社会と倫理学②						
					選択	心理学の基礎② 自己理解の心理学②	

科目区分	各科目に含める ことが必要な事項	校種・教科	必修 選択 の別	授業科目名・単位数	備考
教科及び 教科の指 導法に関 する科目	教科及び教科の指導法 に関する科目における 複数の事項を合わせた 内容に係る科目	中学校・社会 高等学校・地理歴史	選択	戦後の日本と世界②	全学共通 科目
		中学校・社会	必修	社会科教育法A② 社会科教育法B② 社会科・地理歴史科教育法② 社会科・公民科教育法②	
	各教科の指導法 (情報 通信技術の活用を含 む。)	高等学校・地理歴史	必修	社会科・地理歴史科教育法② 地理歴史科教育法②	
		高等学校・公民	必修	社会科・公民科教育法② 公民科教育法②	

(3) 理工学部理工学科

ア 中学校教諭一種免許状(教科:数学)、高等学校教諭一種免許状(教科:数学)

(注) ○印の数字は、当該科目の単位数を表す。

科目区分	校種 教科	各科目に含める ことが必要な事 項	校種 教科	各科目に含める ことが必要な事 項	必修 選択 の別	授業科目名・単位数	備考		
教科及び教科の指導法に関する科目	中学校・数学	代数学	高等学校・数学	代数学	必修	線形代数学Ⅰ② 線形代数学Ⅱ②			
					選択	代数学② 離散数学② 組合せ論②			
					必修	幾何学②			
					必修	微分積分学Ⅰ② 微分積分学Ⅱ②			
					選択	応用フーリエ解析② 微分方程式② 電気数学②			
					選択 必修	確率統計基礎② 確率統計②		1科目以上修得すること。	
					選択	データマイニング② 確率論② 多変量データ解析② 統計モデリング② 実験計画法②			
					必修	プログラミング基礎①		選択	C++プログラミングⅢ② アルゴリズムとデータ構造② データ解析法② 計算力学②
					選択				
					科目区分	各科目に含める ことが必要な事項		校種・教科	必修 選択 の別
教科及び教科の指導法に関する科目	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目		中学校・数学 高等学校・数学	選択	数学演習Ⅰ① 数学演習Ⅱ① 化学数学②				
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)			必修	数学科教育法Ⅰ② 数学科教育法Ⅱ② 数学科教育法Ⅲ②				
				中学 必修	数学科教育法Ⅳ②				

イ 中学校教諭一種免許状(教科:理科)、高等学校教諭一種免許状(教科:理科)

(注) ○印の数字は、当該科目の単位数を表す。

科目区分	校種 教科	各科目に含めることが必要な事項	校種 教科	各科目に含めることが必要な事項	必修 選択 の別	授業科目名・単位数	備考			
教科及び教科の指導法に関する科目	中学校・理科	物理学	高等学校・理科	物理学	選択 必修	物理学概論② 物理学Ⅰ② 物理学Ⅱ②	「物理学概論」1科目又は「物理学Ⅰ」「物理学Ⅱ」2科目のいずれか選択必修			
					選択	物理学演習Ⅰ① 物理学演習Ⅱ① 量子力学② 熱・統計力学Ⅰ② 熱力学Ⅰ② 電磁気学Ⅰ② 電子固体物性② 半導体基礎② 電気電子計測② 熱・統計力学Ⅱ② 移動速度論②				
					選択 必修	化学概論② 物理化学基礎② 有機化学基礎② 無機化学基礎②	「化学概論」1科目又は「物理化学基礎」「有機化学基礎」「無機化学基礎」3科目のいずれか選択必修			
					選択	基礎化学のデータ解析② 分析化学基礎② 化学熱力学② 有機反応機構② 錯体化学② 有機立体化学②				
					必修	生物学概論②				
					選択	生物化学基礎② 細胞生化学②				
					必修	地学概論②				
					中学 4科目 必修	物理学実験(コンピュータ活用を含む。) 化学実験(コンピュータ活用を含む。) 生物学実験(コンピュータ活用を含む。) 地学実験(コンピュータ活用を含む。)	物理学実験(コンピュータ活用を含む。)、 化学実験(コンピュータ活用を含む。)、 生物学実験(コンピュータ活用を含む。)、 地学実験(コンピュータ活用を含む。)	物理学実験① 化学実験① 生物学実験① 地学実験①	中学校免許状取得の場合は、4科目全てを修得すること。 高等学校免許状取得の場合は、1科目以上修得すること。	
					科目区分	各科目に含めることが必要な事項	校種・教科	必修 選択 の別	授業科目名・単位数	備考
					教科及び教科の指導法に関する科目	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目	中学校・理科 高等学校・理科	必修	理科教育法Ⅰ② 理科教育法Ⅱ② 理科教育法Ⅲ②	
								中学 必修	理科教育法Ⅳ②	

ウ 高等学校教諭一種免許状 (教科: 情報)

(注) ○印の数字は、当該科目の単位数を表す。

科目区分	校種 教科	各科目に含めること が必要な事項	必修選 択の別	授業科目名・単位数	備考
教科及び教科の指導法に関する科目	高等学校 情報	情報社会・ 情報倫理	選択 必修	情報社会倫理② 科学技術者倫理②	1科目以上 修得する こと。
		コンピュータ・情報処 理 (実習を含む。)	必修	コンピュータ基礎②	1科目以上 修得する こと。
			選択 必修	C++プログラミングⅠ② プログラミングCⅠ②	
			選択	Javaプログラミング② 関数型プログラミング② 情報理論② C++プログラミングⅡ② C++プログラミング実験Ⅰ① C++プログラミング実験Ⅱ① CAD/CAMⅠ② アルゴリズムデザイン② 機械学習② 応用機械学習② プログラミング言語② ニューラルネットワーク② ソフトウェア設計② 並列分散処理② CAD/CAMⅡ② プログラミングCⅡ② サイエンスプログラミング② 電気制御シミュレーション②	
			必修	データベース② コンピュータシステム②	
			選択	人工知能② ビッグデータ解析② デジタルシステム② オペレーティングシステム② 自然言語処理② 人工知能基礎② センサデータ処理②	
			必修 選択	情報通信② IPネットワーク② Web技術② 情報セキュリティ②	
		マルチメディア表現・ マルチメディア技術 (実習を含む。)	必修	メディア技術概論②	
			選択	ユーザインタフェース② 音声処理② 画像処理② CG技術② パターン認識② シミュレーション基礎② デジタル信号処理② 音響工学②	
		情報と職業	必修	情報と職業②	
教科及び教科の指導法 に関する科目	教科及び教科の指導法 に関する科目における 複数の事項を合わせた 内容に係る科目				
	各教科の指導法 (情 報通信技術の活用を 含む。)		必修	情報科教育法Ⅰ② 情報科教育法Ⅱ②	

エ 高等学校教諭一種免許状 (教科: 工業)

(注) ○印の数字は、当該科目の単位数を表す。

科目区分		校種 教科	各科目に含めること が必要な事項	必修選 択の別	授業科目名・単位数	備考
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	高等学校 工業	工業の関係科目	必修	工業概論②	
				選択	機械力学Ⅰ② インダストリアル・エンジニアリング② 材料力学Ⅰ② 流体力学Ⅰ② 機械工学実験② 人間工学② 電気回路Ⅰ② 電子回路Ⅰ② 制御工学Ⅰ② 電気電子工学実験② 応用化学実験Ⅰ② 応用化学実験Ⅱ② 応用化学実験Ⅲ② ヒューマンファクターズ② ヒューマンインタフェース② 経済性工学Ⅰ② 機械力学Ⅱ② 機械加工学② 生産システム工学② 材料力学Ⅱ② 流体力学Ⅱ② 電気回路Ⅱ② ロボット工学② 電子回路Ⅱ② 化学工学基礎② 認知工学② 電力システム② パワーエレクトロニクス② プラズマ理工学② 半導体工学② 電気電子材料② 材料化学② 金属材料工学② 感性工学② 電気機器② モーションコントロール② 集積回路② 電気化学② 生物資源工学② 分離工学② 生物医薬工学② 反応工学② 経済性工学Ⅱ② 制御工学Ⅱ②	
					職業指導	必修
教科及び教科の指導法に関する科目	教科及び教科の指導法に関する科目		教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目			
			各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	必修	工業科教育法Ⅰ② 工業科教育法Ⅱ②	

(4) 文学部英語英米文学科 (中学校教諭一種免許状 (教科: 外国語 (英語))、高等学校教諭一種免許状 (教科: 外国語 (英語)))

(注) ○印の数字は、当該科目の単位数を表す。

科目区分	校種 教科	各科目に含める ことが必要な事項	校種 教科	各科目に含める ことが必要な事項	必修 選択 の別	授業科目名・単位数	備考
教科及び教科の指導法に関する科目	中学校・英語	英語学	高等学校・英語	英語学	必修	英語学入門210②	
					選択	英語音声学311② 英語史A312② English Around the World314② 英文法414② 英語学研究発展A415	
					選択 必修	英語圏芸術・文学入門230② アメリカ文学史331② イギリス文学史332②	1科目以上 修得すること。
					選択	英語圏芸術・文学A431 (インターテクスチュ アリティ) ② 英語圏芸術・文学B432 (ボディ・アンド・マ インド) ② 批評理論436②	
					必修	Integrated English141② Integrated English241②	
					選択 必修	英語圏文化322 (コミュニケーション) ② 英語圏文化422 (複言語・複文化主義) ② 英語圏文化321 (精神分析) ② 英語圏文化323 (ジェンダー) ② 英語圏文化324 (人種) ② 英語圏文化421 (戦争) ② 英語圏文化423 (ポストコロニアリズム) ② 英語圏文化424 (レイシズム) ②	1科目以上 修得すること。
選択	英語圏文化入門220②						
科目区分	各科目に含める ことが必要な事項		校種・教科		必修 選択 の別	授業科目名・単位数	備考
教科及び教科の指導法に関する科目	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目		/			/	
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)		中学校・英語 高等学校・英語		必修	英語科教育法Ⅰ② 英語科教育法Ⅱ② 英語科教育法Ⅲ②	
					中学 必修	英語科教育法Ⅳ②	

(5) 文学部日本文学科 (中学校教諭一種免許状 (教科:国語)、高等学校教諭一種免許状 (教科:国語))

(注) ○印の数字は、当該科目の単位数を表す。

科目区分	校種 教科	各科目に含めることが必要な事項	校種 教科	各科目に含めることが必要な事項	必修 選択 の別	授業科目名・単位数	備考
教科及び教科の指導法に関する科目	中学校・国語	国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	高等学校・国語	国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	必修	日本語研究の基礎② 日本語法②	
				選択	日本語の歴史A② 日本語の歴史B② 日本語学講義A② 日本語学講義B② 日本語学講義C② 日本語学講義D②		
		国文学 (国文学史を含む。)	国文学 (国文学史を含む。)	必修	日本文学研究の基礎②		
			選択	古典日本文学史A② 古典日本文学史B② 近現代日本文学史A② 近現代日本文学史B② 文学作品をどう読むか② 古代日本文学講義A② 古代日本文学講義B② 古代日本文学講義C② 古代日本文学講義D② 中世日本文学講義A② 中世日本文学講義B② 中世日本文学講義C② 中世日本文学講義D② 近世日本文学講義A② 近世日本文学講義B② 近世日本文学講義C② 近世日本文学講義D② 近現代日本文学講義A② 近現代日本文学講義B② 近現代日本文学講義C② 近現代日本文学講義D②			
	漢文学	漢文学	選択 必修	漢文基礎② 漢文学A② 漢文学B② 中国文学史A② 中国文学史B②	1科目以上修得すること。		
		書道 (書写を中心とする。)			必修	書道 (書写を中心とする。)②	
科目区分		各科目に含めることが必要な事項	校種・教科		必修 選択 の別	授業科目名・単位数	備考
教科及び教科の指導法に関する科目		教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目	中学校・国語 高等学校・国語		選択	日本語・日本文学入門Ⅰ② 日本語・日本文学入門Ⅱ②	
		各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)			必修	国語科教育法Ⅰ② 国語科教育法Ⅱ② 国語科教育法Ⅲ②	
					中学 必修	国語科教育法Ⅳ②	

(6) 文学部国際文化学科 (中学校教諭一種免許状 (教科: 社会)、高等学校教諭一種免許状 (教科: 地理歴史及び公民))

(注) ○印の数字は、当該科目の単位数を表す。

科目区分	校種 教科	各科目に含める が必要な事項	校種 教科	各科目に含める が必要な事項	必修 選択 の別	授業科目名・単位数	備考	
教科及び教科の指導法に関する科目	中学校・社会	日本史・外国史	高等学校・地理歴史	日本史	必修	日本史概論Ⅰ② 日本史概論Ⅱ②		
					選択	日本の歴史と文化A② 日本の歴史と文化B② 日本美術史A②	全学共通科目	
						近現代日本史A② 近現代日本史B②		
				外国史	必修	世界史概論Ⅰ② 世界史概論Ⅱ②		
					選択	歴史学入門② ヨーロッパの歴史と文化A② ヨーロッパの歴史と文化B② ヨーロッパの歴史と文化C② ヨーロッパの歴史と文化D② アメリカの歴史と文化A② アメリカの歴史と文化B② アジア・太平洋の歴史と文化A② アジア・太平洋の歴史と文化B② アジア・アフリカの歴史と文化A② アジア・アフリカの歴史と文化B② 世界美術史A② 世界美術史B②		
						近現代のアジアA② 近現代のアジアB② 近現代の欧米A② 近現代の欧米B②	全学共通科目	
					人文地理学・自然地理学	必修	人文地理学② 自然地理学②	
						選択	文化人類学入門Ⅰ② グローバル化の人類学② 現代社会の地理② 日本の国土と社会②	全学共通科目
					地誌	必修	地誌学②	
						選択	民族文化論② フィールドワーク論② 文化人類学入門Ⅱ② 現代人類学②	
		「法学、政治学」	高等学校・公民	「法学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む。)」	必修	現代の政治学②		
					選択	国際関係論入門② 国際政治経済学② 平和学入門② 国際協力論② 日本国憲法②	全学共通科目	
		「社会学、経済学」	高等学校・公民	「社会学、経済学(国際経済を含む。)」	必修	社会学入門②		
					選択	国際文化研究A② 国際文化研究B② 国際文化論② 比較文化研究A② 比較文化研究B②		
		「哲学、倫理学、宗教学」	高等学校・公民	「哲学、倫理学、宗教学」	選択 必修	哲学の基礎② 倫理学の基礎②	全学共通科目。1科目以上修得すること。	
					選択	現代社会と哲学② 現代社会と倫理学②	全学共通科目	
					選択	社会心理学②	現代社会学科開講。公民のみ適用。	
						心理学の基礎② 自己理解の心理学②	公民のみ適用。全学共通科目。	

科目区分	各科目に含める ことが必要な事項	校種・教科	必修 選択 の別	授業科目名・単位数	備考
教科及び 教科の指 導法に関 する科目	教科及び教科の指導法 に関する科目における 複数の事項を合わせた 内容に係る科目	中学校・社会 高等学校・地理歴史	選択	戦後の日本と世界②	全学共通 科目
		中学校・社会	必修	社会科教育法A② 社会科教育法B② 社会科・地理歴史科教育法② 社会科・公民科教育法②	
	各教科の指導法（情報 通信技術の活用を含 む。）	高等学校・地理歴史	必修	社会科・地理歴史科教育法② 地理歴史科教育法②	
		高等学校・公民	必修	社会科・公民科教育法② 公民科教育法②	

(7) 文学部現代社会学科 (中学校教諭一種免許状 (教科: 社会)、高等学校教諭一種免許状 (教科: 地理歴史及び公民))

(注) ○印の数字は、当該科目の単位数を表す。

科目区分	校種 教科	各科目に含める ことが必要な事項	校種 教科	各科目に含める ことが必要な事項	必修 選択 の別	授業科目名・単位数	備考
教科及び教科の指導法に関する科目	中学校・社会	日本史・ 外国史	高等学校・ 地理歴史	日本史	必修	日本史概論Ⅰ② 日本史概論Ⅱ②	
					選択	歴史と社会② 生活文化史② メディア史入門② メディア制度史②	
						日本文化・文化史特講A② 日本文化・文化史特講B②	国際文化 学科開講
				近現代日本史A② 近現代日本史B②	全学共通 科目		
				外国史	必修	世界史概論Ⅰ② 世界史概論Ⅱ②	
					選択	近現代のアジアA② 近現代のアジアB② 近現代の欧米A② 近現代の欧米B②	全学共通 科目
		人文地理学 ・ 自然地理学	必修	人文地理学② 自然地理学②			
			選択	コミュニティの社会学② 環境社会学② 現代社会の地理② 日本の国土と社会②	全学共通 科目		
		地誌	必修	地誌学②			
		「法学、 政治学」	高等学校・ 公民	「法学(国際法 を含む。)、 政治学(国際政 治を含む。)」	必修	現代の政治学②	
					選択	日本国憲法②	全学共通 科目
				「社会学、 経済学」	必修	現代社会入門② 社会学入門② コミュニケーション論入門② 社会学史② メディア論入門② 社会学史②	
		選択	メディア・リテラシー論② 文化社会学② 社会福祉事業史② 社会福祉概論② 社会調査入門② 社会調査の方法② ボランティア・NPOの社会学② グローバル化の社会学② 教育社会学② 家族社会学② ライフコースの社会学② 都市社会学② 労働社会学② ジェンダーの社会学② マス・コミュニケーション論② ジャーナリズム論② メディアの理論② ネットワーク社会学②				
		「哲学、 倫理学、 宗教学」	選択 必修	哲学の基礎② 倫理学の基礎②	全学共通 科目。1 科目以上 修得する こと。		
			選択	現代社会と哲学② 現代社会と倫理学②	全学共通 科目		
	選択	心理学の基礎② 自己理解の心理学②	公民のみ 適用。 全学共通 科目。				

科目区分	各科目に含める ことが必要な事項	校種・教科	必修 選択 の別	授業科目名・単位数	備考
教科及び 教科の指 導法に関 する科目	教科及び教科の指導法 に関する科目における 複数の事項を合わせた 内容に係る科目	中学校・社会 高等学校・地理歴史	選択	戦後の日本と世界②	全学共通 科目
	各教科の指導法 (情報 通信技術の活用を含 む。)	中学校・社会	必修	社会科教育法A② 社会科教育法B② 社会科・地理歴史科教育法② 社会科・公民科教育法②	
		高等学校・地理歴史	必修	社会科・地理歴史科教育法② 地理歴史科教育法②	
		高等学校・公民	必修	社会科・公民科教育法② 公民科教育法②	

(8) 法学部法律学科 (中学校教諭一種免許状 (教科: 社会)、高等学校教諭一種免許状 (教科: 地理歴史及び公民))

(注) ○印の数字は、当該科目の単位数を表す。

科目区分	校種 教科	各科目に含める ことが必要な事項	校種 教科	各科目に含める ことが必要な事項	必修 選択 の別	授業科目名・単位数	備考			
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	中学校・社会	高等学校・地理歴史	日本史	必修	日本史概論Ⅰ② 日本史概論Ⅱ②	全学共通科目			
					選択	日本法制史Ⅰ② 日本法制史Ⅱ② 近代日本経済史② 現代日本経済史② 近現代日本史A② 近現代日本史B②				
					必修	世界史概論Ⅰ② 世界史概論Ⅱ②				
				外国史	選択	経済史総論Ⅰ② 経済史総論Ⅱ② 比較法Ⅱ④ 近現代のアジアA② 近現代のアジアB② 近現代の欧米A② 近現代の欧米B②	全学共通科目			
					必修	人文地理学② 自然地理学②	全学共通科目			
					選択	国際法Ⅱ④ 経済発展Ⅰ② 経済発展Ⅱ②				
				必修	現代社会の地理② 日本の国土と社会②					
				地理学 (地誌を含む。)	選択	地誌学②				
					必修	憲法Ⅰ④ 民法ⅠA② 民法ⅠB②	全学共通科目。1科目以上修得すること。			
			公民必修		国際法Ⅰ④					
			選択	憲法Ⅱ④ 刑法Ⅰ④ 民法Ⅱ④ 家族法Ⅰ② 商法Ⅰ④ 行政法Ⅰ④ 社会保障法② 労働法④ 経済法④ 知的財産法Ⅰ② 知的財産法Ⅱ② 知的財産法Ⅲ② 比較法Ⅰ②						
			「法学、政治学」	高等学校・公民	「社会学、経済学(国際経済を含む。)」	必修	「社会学、経済学(国際経済を含む。)」	選択	ミクロ経済学基礎② マクロ経済学基礎② 現代法過程論④ 国際経済Ⅰ② 国際経済Ⅱ②	
						必修	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	選択	哲学の基礎② 倫理学の基礎② 現代社会と哲学② 現代社会と倫理学② 心理学の基礎② 自己理解の心理学②	全学共通科目。 公民のみ適用。 全学共通科目。
			「社会学、経済学」	高等学校・公民	「哲学、倫理学、宗教学」	必修	「社会学、経済学(国際経済を含む。)」	選択	哲学の基礎② 倫理学の基礎②	全学共通科目。1科目以上修得すること。
						必修	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	選択	現代社会と哲学② 現代社会と倫理学② 心理学の基礎② 自己理解の心理学②	全学共通科目 公民のみ適用。 全学共通科目。
科目区分	各科目に含める ことが必要な事項	校種・教科	必修 選択 の別	授業科目名・単位数	備考					
教科及び教科の指導法に関する科目	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	中学校・社会 高等学校・地理歴史	選択	戦後の日本と世界②	全学共通科目					
		中学校・社会	必修	社会科教育法A② 社会科教育法B② 社会科・地理歴史科教育法② 社会科・公民科教育法②						
		高等学校・地理歴史	必修	社会科・地理歴史科教育法② 地理歴史科教育法②						
		高等学校・公民	必修	社会科・公民科教育法② 公民科教育法②						

(9) 法学部政治学科 (中学校教諭一種免許状 (教科: 社会)、高等学校教諭一種免許状 (教科: 地理歴史及び公民))

(注) ○印の数字は、当該科目の単位数を表す。

科目区分	校種 教科	各科目に含めることが必要な事項	校種 教科	各科目に含めることが必要な事項	必修 選択の別	授業科目名・単位数	備考
教科及び教科の指導法に関する科目 教科に関する専門的事項	中学校・社会	日本史・外国史 地理学 (地誌を含む。) 「法学、政治学」 「社会学、経済学」 「哲学、倫理学、宗教学」	高等学校・地理歴史	日本史	必修	日本史概論Ⅰ② 日本史概論Ⅱ②	
					選択	日本政治史④ 近代日本経済史② 現代日本経済史②	
						近現代日本史A② 近現代日本史B②	全学共通科目
				外国史	必修	世界史概論Ⅰ② 世界史概論Ⅱ②	
					選択	経済史総論Ⅰ② 経済史総論Ⅱ② 東洋政治史④ 西洋政治史④ 国際政治史④	
						近現代のアジアA② 近現代のアジアB② 近現代の欧米A② 近現代の欧米B②	全学共通科目
			人文地理学 ・ 自然地理学	必修	人文地理学② 自然地理学②		
				選択	経済発展Ⅰ② 経済発展Ⅱ② 中国政治外交論④ 東南アジア政治社会論④ 中東政治社会論④ 現代東アジア政治論② オセアニア政治社会論④ EU政治論④ アメリカ政治外交論④ ラテンアメリカ政治社会論④ 現代ヨーロッパ政治論②		
					現代社会の地理② 日本の国土と社会②	全学共通科目	
			地誌	必修	地誌学②		
			高等学校・公民	「法学、政治学」	必修	政治学への案内②	
					公民	国際政治学④	
					必修	憲法④ 政治学原論④ 行政学④ 現代日本の政治② 比較政治経済② 現代の国際関係② 西洋政治思想史④ 日本政治思想史④ 現代政治理論④ 文化の政治学④ 政治過程論④ 行政法Ⅰ④ 地方自治論④ 国際法Ⅰ④ 比較福祉政治④	
				「社会学、経済学」	必修	ミクロ経済学基礎② マクロ経済学基礎②	
					選択	メディアと政治④ 国際経済Ⅰ② 国際経済Ⅱ② 財政学④	
選択	哲学の基礎② 倫理学の基礎②	全学共通科目。 1科目以上修得すること。					
「哲学、倫理学、宗教学」	選択	現代社会と倫理学② 現代社会と哲学②	全学共通科目				
	選択	政治心理学④ 心理学の基礎② 自己理解の心理学②	公民のみ適用 公民のみ適用。 全学共通科目。				

科目区分	各科目に含める ことが必要な事項	校種・教科	必修 選択 の別	授業科目名・単位数	備考
教科及び 教科の指 導法に関 する科目	教科及び教科の指導法 に関する科目における 複数の事項を合わせた 内容に係る科目	中学校・社会 高等学校・地理歴史	選択	戦後の日本と世界②	全学共通 科目
		中学校・社会	必修	社会科教育法A② 社会科教育法B② 社会科・地理歴史科教育法② 社会科・公民科教育法②	
	各教科の指導法（情報 通信技術の活用を含 む。）	高等学校・地理歴史	必修	社会科・地理歴史科教育法② 地理歴史科教育法②	
		高等学校・公民	必修	社会科・公民科教育法② 公民科教育法②	

(10) 経営学部総合経営学科 (中学校教諭一種免許状 (教科: 社会)、高等学校教諭一種免許状 (教科: 公民))

(注) ○印の数字は、当該科目の単位数を表す。

科目区分	校種 教科	各科目に含める ことが必要な 事項	校種 教科	各科目に含める ことが必要な 事項	必修 選択 の別	授業科目名・単位数	備考
教科及び教科の指導法に関する科目	中学校・社会	日本史・ 外国史	/		必修	日本史概論Ⅰ② 日本史概論Ⅱ② 世界史概論Ⅰ② 世界史概論Ⅱ②	全学共通 科目
						選択	
		地理学 (地誌を含 む。)			必修	人文地理学② 自然地理学② 地誌学②	全学共通 科目
						選択	
		「法学、 政治学」		「法学(国際法 を含む。)、 政治学(国際政 治を含む。)」	必修	現代の政治学②	全学共通 科目
						選択	
		「社会学、 経済学」		「社会学、経済 学(国際経済を 含む。)」	必修	ミクロ経済学の基礎② マクロ経済学の基礎② 環境と経営戦略② 企業の国際戦略② 産業の経済学② 国際経営② ゲーム理論② 組織の経済学②	
						選択	
		「哲学、 倫理学、 宗教学」		「哲学、 倫理学、 宗教学、 心理学」	選択 必修	哲学の基礎② 倫理学の基礎②	全学共通 科目。1 科目以上 修得する こと。
						選択	現代社会と哲学② 現代社会と倫理学②
					選択	意思決定科学② カウンセリングの基礎② 人間情報処理② 人間行動と組織② ストレス・マネジメント②	公民のみ 適用
						選択	コーチングの基礎② 消費者行動② 心理学の基礎② 自己理解の心理学②
科目区分	各科目に含める ことが必要な事項	校種・教科	必修 選択 の別	授業科目名・単位数	備考		
教科及び 教科の指 導法に関 する科目	教科及び教科の指導法 に関する科目における 複数の事項を合わせた 内容に係る科目	中学校・社会	選択	戦後の日本と世界②	全学共通 科目		
	各教科の指導法 (情報 通信技術の活用を含 む。)	中学校・社会	必修	社会科教育法A② 社会科教育法B② 社会科・地理歴史科教育法② 社会科・公民科教育法②			
		高等学校・公民	必修	社会科・公民科教育法② 公民科教育法②			

別表第5 大学が独自に設定する科目 (大学院研究科専攻等の課程) (第13条関係)

(1) 理工学研究科理工学専攻 (中学校教諭専修免許状 (教科: 数学又は理科)、高等学校教諭専修免許状 (教科: 数学又は理科))

(注) ○印の数字は、当該科目の単位数を表す。

施行規則に定める科目区分等	校種 教科	校種 教科	授業科目名・単位数	備考
大学が独自に設定する科目	中学校・数学	高等学校・数学	プログラム理論特論Ⅰ② プログラム理論特論Ⅱ② イメージメディア特論Ⅰ② イメージメディア特論Ⅱ② 自然言語処理特論Ⅰ② 自然言語処理特論Ⅱ② 統計学特論Ⅰ② 統計学特論Ⅱ② 最適化特論Ⅰ② 最適化特論Ⅱ② アルゴリズム特論Ⅰ② アルゴリズム特論Ⅱ② コンピューテーション特論Ⅰ② コンピューテーション特論Ⅱ② 数値計算特論② オペレーションズリサーチ特論② プラズマエネルギーデザイン特論Ⅰ② プラズマエネルギーデザイン特論Ⅱ② 電力系統工学特論② 振動音響学特論Ⅰ② 振動音響学特論Ⅱ② 計算力学特論Ⅰ② 計算力学特論Ⅱ② 流体力学特論Ⅰ② 流体力学特論Ⅱ② 材料力学特論② 知能システム特論Ⅰ② 知能システム特論Ⅱ② ロボット工学特論Ⅰ② ロボット工学特論Ⅱ② 応用数学特論Ⅰ② 応用数学特論Ⅱ②	
		中学校・理科	高等学校・理科 電気化学特論Ⅰ② 電気化学特論Ⅱ② 資源科学基礎論② 非線形現象特論Ⅰ② 非線形現象特論Ⅱ② ナノ物性特論Ⅰ② ナノ物性特論Ⅱ② 薄膜物性特論Ⅰ② 薄膜物性特論Ⅱ② 多次元システム特論Ⅰ② 多次元システム特論Ⅱ② 計測データ解析特論Ⅰ② 計測データ解析特論Ⅱ② 量子力学特論Ⅰ② 量子力学特論Ⅱ② 表面物性特論② 化学計測特論② 有機化学特論Ⅰ② 有機化学特論Ⅱ② 無機化学特論Ⅰ② 無機化学特論Ⅱ② 天然物応用化学特論② 生体分子化学特論Ⅰ② 生体分子化学特論Ⅱ② 物性化学特論② 地球環境変動論② 超高層大気物理学② 生体環境電気工学特論Ⅰ② 生体環境電気工学特論Ⅱ② 生物化学特論Ⅰ② 生物化学特論Ⅱ② 環境材料特論Ⅰ② 環境材料特論Ⅱ② 環境工学特論Ⅰ② 環境工学特論Ⅱ②	

(2) 経済経営研究科経済学専攻(中学校教諭専修免許状(教科:社会)、高等学校教諭専修免許状(教科:公民))

(注) ○印の数字は、当該科目の単位数を表す。

施行規則に定める科目区分等		校種 教科	校種 教科	授業科目名・単位数	備考
大学が独自に設定する科目	教科及び教科の指導法に関する科目	中学校・社会	高等学校・公民	経済経営基礎演習② 経済課題研究Ⅰ② 経済課題研究Ⅱ② ミクロエコノミクス基礎研究② マクロエコノミクス基礎研究② 企業経営基礎研究Ⅰ② 企業経営基礎研究Ⅱ② 経済経営史基礎研究② 経営戦略研究② 戦略支援ソール研究② 消費者行動研究② マーケティング研究② 産業組織と企業戦略② 社会心理学研究② 組織行動研究② 人間情報処理研究② 人的資源管理研究② 財務会計研究② 管理会計研究② 国際会計研究② 租税法基礎研究② 法人税法研究② 公共経済学研究② 地方公共政策研究② 環境問題研究② 環境マネジメント研究② 福祉問題研究② 資産選択理論研究② コーポレートファイナンス研究② 証券市場研究② 現代金融システム研究② ミクロエコノミクス研究② マクロエコノミクス研究② 上級理論研究② 上級税務研究Ⅰ② 上級税務研究Ⅱ②	

(3) 経済経営研究科経営学専攻(中学校教諭専修免許状(教科:社会)、高等学校教諭専修免許状(教科:公民))

(注) ○印の数字は、当該科目の単位数を表す。

施行規則に定める科目区分等		校種 教科	校種 教科	授業科目名・単位数	備考
大学が独自に設定する科目	教科及び教科の指導法に関する科目	中学校・社会	高等学校・公民	経済経営基礎演習② 経営課題研究Ⅰ② 経営課題研究Ⅱ② ミクロエコノミクス基礎研究② マクロエコノミクス基礎研究② 企業経営基礎研究Ⅰ② 企業経営基礎研究Ⅱ② 経済経営史基礎研究② 経営戦略研究② 戦略支援ソール研究② 消費者行動研究② マーケティング研究② 産業組織と企業戦略② 社会心理学研究② 組織行動研究② 人間情報処理研究② 人的資源管理研究② 財務会計研究② 管理会計研究② 国際会計研究② 租税法基礎研究② 法人税法研究② 公共経済学研究② 地方公共政策研究② 環境問題研究② 環境マネジメント研究② 福祉問題研究② 資産選択理論研究② コーポレートファイナンス研究② 証券市場研究② 現代金融システム研究② ミクロエコノミクス研究② マクロエコノミクス研究② 上級理論研究② 上級税務研究Ⅰ② 上級税務研究Ⅱ②	

(4) 法学政治学研究科法律学専攻 (中学校教諭専修免許状 (教科: 社会)、高等学校教諭専修免許状 (教科: 公民))

(注) ○印の数字は、当該科目の単位数を表す。

施行規則に定める科目区分等		校種 教科	校種 教科	授業科目名・単位数		備考
大学が独自に設定する科目	教科及び教科の指導法に関する科目	中学校・社会	高等学校・公民	憲法特殊研究 I ②	憲法基本研究 I ④	
				行政法特殊研究 I ②	行政法基本研究 I ④	
				民法特殊研究 I ②	民法基本研究 I ④	
				民法特殊研究 II ②	民法基本研究 II ④	
				商法特殊研究 I ②	商法基本研究 I ④	
				商法特殊研究 II ②	商法基本研究 II ④	
				刑法特殊研究 I ②	刑法基本研究 I ④	
				民事訴訟法特殊研究 I ②	民事訴訟法基本研究 I ④	
				刑事訴訟法特殊研究 I ②	刑事訴訟法基本研究 I ④	
				国際法特殊研究 ②	国際法基本研究 I ④	
				労働法特殊研究 I ②	労働法基本研究 I ④	
				法哲学基本研究 I ④	法哲学基本研究 II ④	
				英米法特殊研究 ②	英米法基本研究 I ④	
				法社会学基本研究 ④	知的財産権法基本研究 I ④	

(5) 法学政治学研究科政治学専攻 (中学校教諭専修免許状 (教科: 社会)、高等学校教諭専修免許状 (教科: 公民))

(注) ○印の数字は、当該科目の単位数を表す。

施行規則に定める科目区分等		校種 教科	校種 教科	授業科目名・単位数		備考
大学が独自に設定する科目	教科及び教科の指導法に関する科目	中学校・社会	高等学校・公民	政治学特殊研究 I ②	政治学基本研究 I ④	
				政治学特殊研究 II ②	政治学基本研究 II ④	
				政治学基本研究 III ④	政治学史特殊研究 ②	
				政治学史基本研究 I ④	日本政治史特殊研究 ②	
				日本政治史基本研究 ④	西洋政治外交史特殊研究 I ②	
				西洋政治外交史基本研究 I ④	国際政治特殊研究 I ②	
				国際政治基本研究 I ④	国際政治特殊研究 II ②	
				国際政治基本研究 II ④	国際政治基本研究 III ④	
				アメリカ政治外交史特殊研究 ②		
				アメリカ政治外交史基本研究 ④		
				行政学特殊研究 I ②	行政学基本研究 I ④	
				政治過程論特殊研究 ②	政治過程論基本研究 ④	
				比較福祉政治論特殊研究 ②	比較福祉政治論基本研究 ④	
				財政学特殊研究 ②	財政学基本研究 ④	

(6) 文学研究科英米文学専攻(中学校教諭専修免許状(教科:外国語(英語))、高等学校教諭専修免許状(教科:外国語(英語)))

(注) ○印の数字は、当該科目の単位数を表す。

施行規則に定める科目区分等	校種 教科	校種 教科	授業科目名・単位数	備考
大学が独自に設定する科目	教科及び教科の指導法に関する科目	中学校・英語	イギリス文学研究A I ②	
			イギリス文学研究A II ②	
			イギリス文学研究B I ②	
			イギリス文学研究B II ②	
			イギリス文学研究C I ②	
			イギリス文学研究C II ②	
			アメリカ文学研究A I ②	
			アメリカ文学研究A II ②	
			アメリカ文学研究B I ②	
			アメリカ文学研究B II ②	
			アメリカ文学研究C I ②	
			アメリカ文学研究C II ②	
			英語学研究A I ②	
			英語学研究A II ②	
			英語学研究B I ②	
		英語学研究B II ②		
		英語学研究C I ②		
		英語学研究C II ②		
		英語教育研究A I ②		
		英語教育研究A II ②		
		英語教育研究B I ②		
		英語教育研究B II ②		
		イギリス文学演習A I ②		
		イギリス文学演習A II ②		
		イギリス文学演習B I ②		
		イギリス文学演習B II ②		
		イギリス文学演習C I ②		
		イギリス文学演習C II ②		
		アメリカ文学演習A I ②		
		アメリカ文学演習A II ②		
		アメリカ文学演習B I ②		
		アメリカ文学演習B II ②		
		アメリカ文学演習C I ②		
アメリカ文学演習C II ②				
英語学演習A I ②				
英語学演習A II ②				
英語学演習B I ②				
英語学演習B II ②				
英語学演習C I ②				
英語学演習C II ②				
英語教育演習A I ②				
英語教育演習A II ②				
英語教育演習B I ②				
英語教育演習B II ②				
Thesis Writing I ②				
Thesis Writing II ②				
イギリス文学コア・カリキュラムA ②				
イギリス文学コア・カリキュラムB ②				
アメリカ文学コア・カリキュラムA ②				
アメリカ文学コア・カリキュラムB ②				
批評理論コア・カリキュラムA ②				
批評理論コア・カリキュラムB ②				
英語学コア・カリキュラムA ②				
英語学コア・カリキュラムB ②				
英語教育コア・カリキュラムA ②				
英語教育コア・カリキュラムB ②				

(7) 文学研究科日本文学専攻 (中学校教諭専修免許状 (教科: 国語)、高等学校教諭専修免許状 (教科: 国語))

(注) ○印の数字は、当該科目の単位数を表す。

施行規則に定める科目区分等		校種 教科	校種 教科	授業科目名・単位数	備考
大学が独自に設定する科目	教科及び教科の指導法に関する科目	中学校・国語	高等学校・国語	古典文学共通講義A②	古典文学共通講義B②
				近代文学共通講義A②	近代文学共通講義B②
				日本語学共通講義A②	日本語学共通講義B②
				文献資料共通講義A②	文献資料共通講義B②
				古代文学研究A I ②	古代文学研究A II ②
				古代文学研究B I ②	古代文学研究B II ②
				中世文学研究 I ②	中世文学研究 II ②
				近世文学研究 I ②	近世文学研究 II ②
				近代文学研究A I ②	近代文学研究A II ②
				近代文学研究B I ②	近代文学研究B II ②
				日本語学研究A I ②	日本語学研究A II ②
				日本語学研究B I ②	日本語学研究B II ②
				古代文学演習A I ②	古代文学演習A II ②
				古代文学演習B I ②	古代文学演習B II ②
				中世文学演習 I ②	中世文学演習 II ②
				近世文学演習 I ②	近世文学演習 II ②
				近代文学演習A I ②	近代文学演習A II ②
				近代文学演習B I ②	近代文学演習B II ②
				日本語学演習A I ②	日本語学演習A II ②
				日本語学演習B I ②	日本語学演習B II ②

(8) 文学研究科社会文化論専攻(中学校教諭専修免許状(教科:社会)、高等学校教諭専修免許状(教科:地理歴史又は公民))

(注) ○印の数字は、当該科目の単位数を表す。

施行規則に定める科目区分等		校種 教科	校種 教科	授業科目名・単位数	備考
大学が独自に設定する科目	教科及び教科の指導法に関する科目	中学校・社会	高等学校・地理歴史	欧米文化研究Ⅰ② 欧米文化研究Ⅱ② 国際社会文化研究Ⅰ② 国際社会文化研究Ⅱ② 文化人類学研究Ⅰ② 文化人類学研究Ⅱ② 歴史研究AⅠ② 歴史研究AⅡ② 歴史研究BⅠ② 歴史研究BⅡ② 女性史・ジェンダー研究Ⅰ② 女性史・ジェンダー研究Ⅱ② 欧米文化演習Ⅰ② 欧米文化演習Ⅱ② 国際社会文化演習Ⅰ② 国際社会文化演習Ⅱ② 文化人類学演習Ⅰ② 文化人類学演習Ⅱ② 歴史演習AⅠ② 歴史演習AⅡ② 歴史演習BⅠ② 歴史演習BⅡ② 女性史・ジェンダー演習Ⅰ② 女性史・ジェンダー演習Ⅱ②	
			高等学校・公民	社会学研究AⅠ② 社会学研究AⅡ② 社会学研究BⅠ② 社会学研究BⅡ② 社会学研究CⅠ② 社会学研究CⅡ② メディア研究AⅠ② メディア研究AⅡ② メディア研究BⅠ② メディア研究BⅡ② 地域福祉・NPO研究Ⅰ② 地域福祉・NPO研究Ⅱ② 社会学演習AⅠ② 社会学演習AⅡ② 社会学演習BⅠ② 社会学演習BⅡ② 社会学演習CⅠ② 社会学演習CⅡ② メディア演習AⅠ② メディア演習AⅡ② メディア演習BⅠ② メディア演習BⅡ② 地域福祉・NPO演習Ⅰ② 地域福祉・NPO演習Ⅱ②	